

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ア	「新しい生活様式／ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進	施策	②快適で魅力ある観光まちづくりの推進
			施策の小項目名	○国際的な観光地にふさわしい観光まちづくりの推進
主な取組	沖縄フラワークリエイション事業		対応する成果指標	リピーター率
施策の方向	<p>・沖縄らしい風景の保全や創出、憩いの場やレクリエーション施設の整備に加え、空港、港湾の緑化、良好な沿道景観の形成など、観光地としての受入品質を単なる「安全・安心」だけではない「快適」なレベルまで高め、誰もがリラックスして楽しめる国際的な観光地にふさわしい観光まちづくりに市町村、観光協会、観光関連団体と連携して取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
観光地への主要アクセス道路等について、花と緑のある良好な空間を創出し、道路景観を向上させる。	県	観光地への主要アクセス道路等について、花と緑のある良好な空間を創出し、道路景観の向上			
		草花等による緑化・重点管理路線数(内訳)			
		41路線	41路線(継続41路線)	41路線(継続41路線)	
担当部課【連絡先】	土木建築部道路管理課		【 098-866-2665 】	関連URL	-

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄フラワークリエイション事業			予算事業名	沖縄フラワークリエイション事業	
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	R7年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	608,197	563,827	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	563,827
令和6年度活動内容				令和7年度活動計画		
観光地へアクセスする道路43路線の緑化・重点管理を実施した。				観光地へアクセスする道路43路線への緑化・重点管理を推進する。		

活動指標名	草花等による緑化・重点管理路線数 (内訳)		R6年度			進捗状況	活動概要
	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	41路線	41路線	43路線	41路線 (継続41路線)	100.0%	順調	国際通りや首里城等の観光地へアクセスする43路線について、緑化(草花等)・重点管理を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

計画41路線に対し、実績43路線となっており、順調に実施している。国際通りや首里城等の観光地へアクセスする43路線について、緑化(草花等)・重点管理を実施したことにより、観光地沖縄としてのイメージアップと温暖化防止に寄与できた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
限られた予算で効果的・効率的な植栽管理を実施するため実効性のあるしくみづくりや道路ボランティア団体による住民と行政の協働による「美しい道路環境づくり」を推進する。	年間を通して、草花等の生育状況を継続的に確認し、植栽箇所の環境条件に応じた適切な花木や草花、アレロパシー植物等の植栽を行い、道路景観の向上と維持させる取り組みを土木事務所や造園業者と連携して行った。ボランティアも含めた活動が観光客の満足度向上に寄与した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	沖縄観光のイメージアップのため、観光地までの主要アクセス道路について、年間を通して花と緑のある良好な道路空間を創出し、道路景観の向上と維持させる取組みが求められている。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	年間を通して、生育状況を継続的に確認し、植栽箇所環境条件に応じた適切な花木や草花を各季節で開花できるように管理方法等、各土木事務所や造園業者と連携して改善策を検討しながら品質向上を図る。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ア	「新しい生活様式／ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進	施策	②快適で魅力ある観光まちづくりの推進
			施策の小項目名	○国際的な観光地にふさわしい観光まちづくりの推進
主な取組	東部海浜開発事業の推進		対応する成果指標	リピーター率
施策の方向	<p>・沖縄らしい風景の保全や創出、憩いの場やレクリエーション施設の整備に加え、空港、港湾の緑化、良好な沿道景観の形成など、観光地としての受入品質を単なる「安全・安心」だけではない「快適」なレベルまで高め、誰もがリラックスして楽しめる国際的な観光地にふさわしい観光まちづくりに市町村、観光協会、観光関連団体と連携して取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
スポーツコンベンション拠点及びビーチフロント観光の形成に向けた海浜、緑地、臨港道路等の港湾施設整備を行う。	国,県,市町村	スポーツコンベンション拠点及びビーチフロント観光の形成に向け、海浜、緑地、臨港道路等の港湾施設整備			
		整備進捗率			
		養浜94%	養浜100%	物揚場50%	
担当部課【連絡先】	土木建築部港湾課		【 098-866-2395 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)		
予算事業名	沖縄振興公共投資交付金 (港湾)				予算事業名	沖縄振興公共投資交付金 (港湾)	
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額		R7年度		
一括交付金 (ハード)	直接実施	138,030	1,128,794		主な財源	実施方法	当初予算額
令和6年度活動内容					一括交付金 (ハード)	直接実施	205,000
物揚げ場護岸の地盤改良 (約140m) を行った。				令和7年度活動計画			
予算事業名	社会資本整備総合交付金 (泡瀬工区)				予算事業名	社会資本整備総合交付金 (泡瀬工区)	
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額		R7年度		
内閣府計上	直接実施	3,948,925	2,779,658		主な財源	実施方法	当初予算額
令和6年度活動内容					内閣府計上	直接実施	2,800,000
橋梁桁製作 (52個)、上部工 (250m) を整備した。				令和7年度活動計画			
橋梁橋面工 (北側車道部 約667m)、道路改良 (交差点部) を整備する。							
活動指標名	整備進捗率		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	養浜88%	養浜88%	75%	物揚げ場50%	100.0%	順調	物揚げ場護岸の地盤改良 (約140m) を行った。橋梁桁製作 (52個)、上部工 (250m) を整備した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>国事業における進捗率は約70%、県事業における進捗率は、74%（事業費ベース）となっている。海上工事の期間に制約があること等から事業計画を見直し埋立竣工を令和11年度としており、計画のとおり整備を進めていることから順調と判断した。 取組完了後の効果として、スポーツコンベンション拠点の形成が図られ、本島中部東海岸地域の活性化が期待される。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
<p>債務負担行為等を活用した効率的な工程計画により整備を推進する。 県民に対し、事業に対する理解の向上を図るため、引き続き、国や沖縄市等と連携し、人工海浜でのレクリエーションなど、イベント利用等を行う。</p>	<p>債務負担行為や、補正等を活用し、効率的な整備を推進するとともに、国や沖縄市と連携して、早期整備、部分使用に向けた工程計画の検討を継続的にこなっている。 当該事業に関する理解度向上を目的に、沖縄市が主催した人工海浜でのイベント（「海の日イベント」）に協力した。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化 (外部環境の変化)	埋立事業について、地元の沖縄市等から引き続き早期整備の強い要望がある。
⑦ その他 (改善余地の検証等)	環境保全に配慮して工事を進める必要があることから、工事期間が限られていること、国や市町村の多数の工事が混在すること等を踏まえ、早期整備に向けた効率的、効果的な整備推進が必要である。
⑦ その他 (改善余地の検証等)	事業を円滑に推進するため、県民に対し、当該事業に関する理解度向上を図る必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
① 執行体制の改善	円滑に工事を進めるために、工期が1年以上になる工事について、債務負担行為等を活用した効率的な工程計画により整備を推進する。
② 連携の強化・改善	国や沖縄市の工事進捗状況を把握し、連携して、早期整備、部分使用に向けた工程計画の検討を引き続き行う。
⑤ 情報発信等の強化・改善	事業に対する理解度向上を図るため、引き続き、国や沖縄市等と連携し、人工海浜でのイベントに協力する。